【米田主宰の俳句】

リラの冷え

米田規子

はげましの声とも思い花菜風

考えるためにペン置き朧かな

もったいないような晴天蕗を煮る

マスクして桜いちばんきれいな日

ひと日籠もれば一つ年取り草の餅

漆黒のアボカドやわく菜種梅雨

リラの冷え人を想いて書く手紙

考える悩む竹の子茹でている

ゴールデンウィーク切手の青い鳥

濃厚なチーズケーキと若葉風